

## 特別会計

### 《診療所会計》

**植村委員** 入院報酬が更に減少している要因は。

**若本事務次長** 長期の入院患者が減少しているのが主な原因と考えている。

**斎賀委員** 心療内科と精神科を増設した効果は。

**若本事務次長** 平成28年度の収入は4百50万円。

**斎賀委員** 今後どのようにPR展開をしていくのか。

**藤田事務長** 月に診察できる人数には限りがあり、すでに限界状態であることから、積極的なPRは考えていない。

### 《国民健康保険会計》

**植村委員** 未収額5百70数万円についての対応は。

**伊藤主幹** 国保に限らず全税目一斉に、基本的には催告書を出す。反応がない事が多いので、電話連絡をし、勧奨、催告をする。町内にいる方で直接会える方については、会って納付相談させてもらっている。

# 地域の課題をとらえて 2氏が一般質問



見 悟  
・幌延町における再生エネルギーの条例化について  
・高齢者の交通体系について

### 風力発電について

**質問** 風力発電の多様化が進み、5kW〜1千kWまでの風車を設置する動きが進んでいる。原野と宅地などの場合、申請だけで許可されるが、町として景観や電磁波、低周波などの問題が出ると思うが、条例が必要なのではないか。

**町長** 国による事業計画等の審査、環境影響評価審査は行われる。町としても、近隣自治体の状況を踏まえながら独自のガイドラインについて検討する。

**質問** 道北における送電網が整った場合、北海道内に存在する風車の50%程度が宗谷・留萌管内に設置されることになる。千葉県などでは、野鳥がいなくなつたなどの公害が出てきており、心配である。

### 太陽光発電について

**町長** 大型の物には評価・審査があるが小型の物にはきちんとした審査がない。町でガイドラインを作っていききたい。

### 太陽光発電について

**質問** 9月中旬に設置に関する再登録の話があるが。

**町長** 風力については、出力20kW以上、太陽光については、2千kW以上の売電接続を行う場合には、出力変動緩和対策として、蓄電池等の併設が義務付けられた。この手続きのための再登録だ。

### バイオガスについて

**質問** バイオガス発電所を町としてはどう推進する考えか。

**町長** 本町においては、送電網が脆弱なことから、1戸あたりの飼育頭数が約百頭と少ないこと、投資が高額

になること等が要因で進んでいない。20戸の酪農家から、プラント導入に関心があるとの回答があり、検討を進めている。

**福祉と高齢者にやさしい町づくりについて**

**質問** 町で交通対策を進められている福祉バス・デマンドバスをどう進めるのか。

**町長** 現在、町内において、患者輸送バスやスクールバス混乗により、利便性向上に務めている。今年度から問寒別地区において、患者輸送バスのループ化により、利用者の自宅前から乗車できるように改善した。これからも検討を進めたい。

**質問** 高齢者の方が安心して幌延町に住むためには、通院の足の確保が大切だ。天塩町、中頓別町などの例もあるが。

**町長** 福祉関係と地域交通は分けて考えている。議員からタクシー割引券も含めて提案があった。それらのことも考えて進めていきたい。

**質問** 議会として、石川県に視察をして、デマンドバ